

4. 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

イ 男女別在籍者数（令和5年5月1日現在）

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	141	160	138	158	597
女	63	87	74	91	315
計	204	247	212	249	912

※休学者の数は在籍者の内数

ロ 出身地別在籍者数（令和5年5月1日現在）

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	47	47	42	52	188
	最上	12	19	10	13	54
	置賜	31	34	30	40	135
	庄内	54	70	55	58	237
	小計	144	170	137	163	614
山形県外	青森県	1	7	3	6	17
	岩手県	4	7	7	20	38
	秋田県	25	34	28	21	108
	宮城県	5	3	5	4	17
	福島県	13	11	18	14	56
	茨城県				1	1
	埼玉県				1	1
	千葉県			2		2
	東京都			1		1
	神奈川県			3	5	8
	新潟県	1	2		4	7
	石川県		1		2	3
	福井県	1				1
	山梨県			1		1
	長野県	2	2		2	6
	愛知県	2	1			3
	大阪府	1				1
	兵庫県		1			1
	福岡県	1			1	2
	長崎県				1	1
	熊本県		1			1
	大分県		2	1	1	4
	宮崎県	2	2	1	3	8
	鹿児島県			2		2
	沖縄県	2	2	2		6
	中国			1		1
	ネパール		1			1
小計	60	77	75	86	298	
計	204	247	212	249	912	

ハ 退学・除籍・休学の状況（令和4年度）（令和5年5月1日現在）

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累計
退学者	9		15		2		5		31		512
除籍者	0		0		0		0		0		44
休学者	春学期 0	秋学期 0	春学期 6	秋学期 3	春学期 0	秋学期 0	春学期 0	秋学期 0	春学期 6	秋学期 3	—

② 公益学研究所 [収容定員 修士課程 60名、博士後期課程 12名]

イ 男女別在籍者数

性別	修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
男	2	1	0	0	1	4
女	6	3	0	0	0	9
計	8	4	0	0	1	13

ロ 出身地別在籍者数

出身地		修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
山形県内	村山	1	1	0	0	1	3
	最上	0	0	0	0	0	0
	置賜	0	1	0	0	0	1
	庄内	6	1	0	0	0	7
	小計	7	3	0	0	1	11
山形県外	福島	1	0	0	0	0	1
	小計	1	0	0	0	0	1
国外	中国	0	1	0	0	0	1
	小計	0	1	0	0	0	1
合計		8	4	0	0	1	13

ハ 退学・休学の状況（令和4年度）

学年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者（春学期）	0	0	0
休学者（秋学期）	0	0	0

ニ 科目等履修生の入学者数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
6	7	3	10	5	32

(2) 公益学部履修科目

□カリキュラム(2018・2017年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
基礎教育科目	スタディ導入科目 [8単位]		●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8	
		Ⅰ群 [24単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 英国庭園文化論[2] 世界地誌[2]										
		Ⅱ群 [22単位]	経済学[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ジェンダー論[2] 環境社会学[2] 教育学[2] 生涯学習概論[2] 特別支援教育[2]										
		Ⅲ群 [15単位]	数学a[1] 数学b[1] 実用数学a[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2]										
リテラシー科目	外国語科目 [各8単位]		○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /O中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /O中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]	○英語Ⅶ/OEAPⅦ /O中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]	○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]					選択 必修	8 以上	・同一言語8単位必修
		情報科目 [8単位]	●情報リテラシー[2]		●情報リテラシー[2]		●基礎プログラミングⅠ[2]		●基礎プログラミングⅡ[2]			必修	8
専門教育科目	地境経営系	系共通科目 [14単位]	○基礎簿記Ⅰ[2] ○基礎簿記Ⅱ[2] ○経営学基礎[2] ○地域福祉論a[2] ○雇用政策論[2] ○ミクロ経済学[2] ○マクロ経済学[2]										
		経営 コース [39単位]		データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 経済史[2] 経営管理論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] マーケティング論[2] 福祉経営論[2] 環境マネジメント論b[1] 会計学[2] 管理会計[2] 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] 経営戦略論[2] 人的資源管理論[2] 企業法務[2] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] 企業組織の心理学[2] ゲーム理論[2]									
		政策 コース [38単位]		公共経営論[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 行政法[2] 地方自治法[2] 政策入門[2] 国際海洋法[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 社会保障論Ⅰ[2] 社会保障論Ⅱ[2] 公的年金論[2] 福祉行政と福祉計画Ⅰ[1] 福祉行政と福祉計画Ⅱ[1] 民法Ⅰ[2] 民法Ⅱ[2] 憲法a[1] 憲法b[1] 地方財政論[2] 国際法[2] 国際関係の法と経済[2]									
	地域福祉 コース [31単位]		障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] ソーシャルワーク総論a[2] ソーシャルワーク総論b[2] 地域福祉論b[2] 相談援助の理論と方法a[2] 相談援助の理論と方法b[2] 相談援助の理論と方法c[2] 相談援助の理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 介護福祉論[2] 児童福祉論[2] 司法福祉論[1] 精神保健学[2]										
文化交流系	系共通 科目 [18単位]	○日本文化論[2] ○観光・まちづくり概論Ⅰ[1] ○観光・まちづくり概論Ⅱ[2] ○世界経済事情[2] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] ○サブカルチャー論a[1] ○サブカルチャー論b[1] ○社会調査論a[1] ○社会調査論b[1] ○ヒューマンインタフェース[1] ○インターネットと社会[1] ○マルチメディア論[1] ○セキュリティ論[1] ○データサイエンス入門a[1] ○データサイエンス入門b[1]											
	国際 教養 コース [42単位]	国際関係論[2] 国際協力論[2] 国際ビジネス論[2] アジア経済論[2] 中国経済論[2] 中国語Ⅰ[1] 中国語Ⅱ[1] 比較文化論Ⅰ[1] 比較文化論Ⅱ[1] 多文化共生論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] International Economics[2] 海外インターンシップ[2] [語学科目] ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC(中級)Ⅰ ■TOEIC(上級)Ⅰ ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級)Ⅰ ▲中国語会話(中級)Ⅰ ▲中国語中級講義Ⅰ[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニングⅠ[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]											
	観光 まちづくりの コース [36単位]	観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 地域・観光資源論[2] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 余暇と観光の社会学[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] グリーンツーリズム論[2] 第六次産業論[2] 自然環境の保全と共生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] NPO・NGO論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2]											
	メディア 情報 コース [39単位]	ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 社会情報処理[1] 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データベース論[1] データベース演習[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1]											
専門演習	一般 [8単位]				●専門演習Ⅰ[4]			●専門演習Ⅱ[4]			必修	8	
	留学 [8単位]					○専門演習(留学)Ⅰa[2]		○専門演習(留学)Ⅰb[2]		○専門演習(留学)Ⅰc[2]	必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目	特別 プログラム	エネルギーと社会a,b	現代メディア論[2]										
		社会福祉士 養成課程 [20単位]	相談援助演習Ⅰ[2] 相談援助演習Ⅱ[2] 相談援助演習Ⅲ[2] 相談援助演習Ⅳ[2] 相談援助演習Ⅴ[2] 相談援助実習指導Ⅰ[1] 相談援助実習指導Ⅱ[1] 相談援助実習指導Ⅲ[1] 相談援助実習指導Ⅳ[1] 相談援助実習指導Ⅴ[3] 相談援助実習Ⅱ[3]										
		エネルギー特別 プログラム [0単位]											
	特別プログラム 振替科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)											
外国語 発展科目	ロシア語 [6単位]	ロシア語1[1] ロシア語2[1]		ロシア語3[1] ロシア語4[1]		日本語演習a[1] 日本語演習b[1]		日本語演習c[1] 日本事情[1]					
	留学外国語	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]		実践外国語(期間・大学名)[*]									
人材育成 強化科目	キャリア 科目	基本科目 [6単位]	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]		●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		就職セミナー[2]						
		発展科目 [6単位]	文章表現法[2] トップセミナー[1] メディアと社会[1]										
		応用演習科目 [16単位]	○インターンシップ1[2] ○インターンシップ2[2] ○インターンシップ3[2] ○インターンシップ4[2] ○O'p'1外型応用演習1[2] ○O'p'1外型応用演習2[2] ○競争型課題解決演習1[2] ○競争型課題解決演習2[2] ○課題解決実践演習[*]										
リメディアル科目	●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2										卒業単位外		・修得が義務

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

10
以上

・各群から4単位以上修得

・同一言語8単位必修

5
8
以上
・発展
教育
科目
と
合
算
し
て

・所属系から35単位以上修得
・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特別プログラム基礎科目(2021年度は休講)から合計6単位以上修得
・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修
■英語、▲中国語

・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る
英語科目:
Advanced English Communication
TOEIC(中級)
TOEIC(上級)
中国語科目:
中国語会話(初級)
中国語会話(中級)
中国語検定対策Ⅰ

・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める

5
8
以上
・実
践
外
国
語
長
期
留
学
中
の
外
国
語
に
関
わ
る
学
修
時
間
に
応
じ
て
単
位
認
定
・国
際
教
養
コ
ー
ス
所
属
の
場
合
、「
短
期
語
学
留
学
」
又
は
「
実
践
外
国
語
」
よ
り
選
択
必
修

・応用演習科目から4単位以上修得

設置科目数 計295科目
修得単位数 計124単位以上

ロカリキュラム(2020・2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
基礎教育科目	スタンダード導入科目 [8単位]		●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8	
	教養科目	I群 [24単位] II群 [22単位] III群 [15単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 英国庭園文化論[2] 世界地誌[2] 経済学[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ジェンダー論[2] 環境社会学[2] 教育学[2] 生涯学習概論[2] 特別支援教育[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学a[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2]							選択	24以上	各群から4単位以上修得	
	リテラシー科目	外国語科目 [各8単位] 情報科目 [8単位]	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1] ●情報リテラシー[2]	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1] ●情報リテラシーII[2]	○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]	○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]					選択必修	8以上	同一言語8単位必修
				●基礎プログラミングⅠ[2]	●基礎プログラミングⅡ[2]						必修	8	
専門教育科目	系共通科目 [14単位]		○基礎簿記Ⅰ[2] ○基礎簿記Ⅱ[2] ○経営学基礎[2] ○地域福祉論a[2] ○雇用政策論[2] ○ミクロ経済学[2] ○マクロ経済学[2]										
	経営コース [39単位]				データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 経済史[2] 経営管理論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] マーケティング論[2] 福祉経営論[2] 環境マネジメント論b[1] 会計学[2] 管理会計[2] 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] 経営戦略論[2] 人的資源管理論[2] 企業法務[2] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] 企業組織の心理学[2] ゲーム理論[2]								
	政策コース [38単位]				公共経営論[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 行政法[2] 地方自治法[2] 政策入門[2] 国際海洋法[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 社会保障論Ⅰ[2] 社会保障論Ⅱ[2] 公的年金論[2] 福祉行財政と福祉計画Ⅰ[1] 福祉行財政と福祉計画Ⅱ[1] 民法Ⅰ[2] 民法Ⅱ[2] 憲法a[1] 憲法b[1] 地方財政論[2] 国際法[2] 国際関係の法と経済[2]								
	地域福祉コース [31単位]				障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] ソーシャルワーク総論a[2] ソーシャルワーク総論b[2] 地域福祉論b[2] 相談援助の理論と方法a[2] 相談援助の理論と方法b[2] 相談援助の理論と方法c[2] 相談援助の理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 介護福祉論[2] 児童福祉論[2] 司法福祉論[1] 精神保健学[2]								
	系共通科目 [18単位]				○日本文化論[2] ○観光・まちづくりの概論a[1] ○観光・まちづくりの概論b[1] ○世界経済事情[2] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] ○サブカルチャー論a[1] ○サブカルチャー論b[1] ○社会調査論a[1] ○社会調査論b[1] ○ヒューマンインタフェース[1] ○インターネットと社会[1] ○マルチメディア論[1] ○セキュリティ論[1] ○データサイエンス入門a[1] ○データサイエンス入門b[1]								
国際教養コース [42単位]				国際関係論[2] 国際協力論[2] 国際ビジネス論[2] アジア経済論[2] 中国経済論[2] 中国文化論Ⅰ[1] 中国文化論Ⅱ[1] 比較文化論Ⅰ[1] 比較文化論Ⅱ[1] 多文化共生論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] International Economics[2] 海外インターンシップ[2] [語学科目] ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC(中級)[1] ■TOEIC(上級)[1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級)[1] ▲中国語会話(中級)[1] ▲中国語中級講義Ⅰ[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]									
観光・まちづくりコース [36単位]				観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 地域・観光資源論[2] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 余暇と観光の社会学[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] グリーンツーリズム論[2] 第六次産業論[2] 自然環境の保全と共生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] NPO・NGO論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2]									
メディア情報コース [39単位]				ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 社会情報処理[1] 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データベース論[1] データベース演習[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習管理論a[1] 機械学習管理論b[1] 機械学習管理論c[1] 機械学習管理論d[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1]									
一般 [8単位]							●専門演習Ⅰ[4]				必修	8	
留學 [8単位]										○専門演習(留学)Ⅱ[2]	必修	2	選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目	特別プログラム				現代メディア論[2]								
	社会福祉士養成課程 [20単位]				相談援助演習Ⅰ[2] 相談援助演習Ⅱ[2] 相談援助演習Ⅲ[2] 相談援助演習Ⅳ[2] 相談援助演習Ⅴ[2] 相談援助実習指導Ⅰ[1] 相談援助実習指導Ⅱ[1] 相談援助実習指導Ⅲ[1] 相談援助実習指導Ⅳ[1] 相談援助実習指導Ⅴ[1] 相談援助実習Ⅰ[3] 相談援助実習Ⅱ[3]								
	特別プログラム 6単位				特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)								
外国語発展科目	ロシア語 [6単位]	ロシア語1[1] ロシア語2[1] ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 日本語演習c[1] 日本事情[1]											
留学外国語		短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]											
実践外国語(期間・大学名)*													
人材育成強化科目	キャリア科目 [6単位]	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]		●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		就職セミナー[2]							
	発展科目 [6単位]			文章表現法[2] トップセミナー[1] メディアと社会[1] 日経講座:メガトレンド論[2]									
	応用演習科目 [16単位]*			○インターンシップ1[2] ○インターンシップ2[2] ○インターンシップ3[2] ○インターンシップ4[2]									
				○O'ry i/外型応用演習1[2] ○O'ry i/内型応用演習2[2] ○競争型課題解決演習1[2] ○競争型課題解決演習2[2] ○課題解決実践演習[*]									
リメディアル科目		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2											

●必修科目 ○選択必修科目

卒業単位数 合計 124

58以上(発展教育科目と合算して)

・所属系から35単位以上修得
・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特別プログラム基礎科目(2021年度は休講)から合計6単位以上修得
・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修(■英語、▲中国語)

国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る
英語科目:
Advanced English Communication
TOEIC[中級]
TOEIC[上級]
中国語科目:
中国語会話[初級]
中国語会話[中級]
中国語検定対策Ⅰ

必修
2
選択必修

2または4

選択

5門8教以上科目を専ら合算して修得

・実践外国語 長期留学中の外国語に関わる学習時間に応じて単位認定
・国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修

必修/選択
10以上

・応用演習科目から4単位以上修得

設置科目数 計295科目
修得単位数 計124単位以上

ロカリキュラム(2022・2021年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	卒業単位数	備考[卒業要件等]
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
基礎教育科目	38科目 46単位	スタンダード導入科目 [6科目] [9単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ [1] ●現代公益論Ⅱ [1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8	
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ [各1]		○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]		○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]		選択必修	8	・同一言語8単位必修
		情報科目	●情報リテラシー[2]		●データリテラシー[2]		●基礎プログラミングⅠ [2]		●基礎プログラミングⅡ [2]		必修	8	
		キャリア科目	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]						●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		必修/選択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上
	共通科目	人文社会系 [21科目] [30単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2]		自然地理学a[2] 自然地理学b[2] ソーシャルワークの基礎と専門職a[2] ソーシャルワークの基礎と専門職b[2]		文章表現法[2] トップセミナー[1] メディアと社会[1] 日経講座：メガトレンド論[2] 現代メディア論[2]				選択	30以上	・人文社会系の区分から6単位以上 ・STEAM系の区分から4単位以上 ・SDGs導入科目の区分から2単位以上
STEAM系科目	英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2]	○日経講座：デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1]		○AIと社会[1] (○から2単位選択必修)									
SDGs導入科目	生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]												
専門教育科目	共通専門科目 [12科目] [18単位]	○問題解決の思考法[1] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] (○から1科目選択必修)		基礎基礎薄記Ⅰ [2] 基礎薄記Ⅱ [2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] 観光・まちづくり概論a[1] 観光・まちづくり概論b[1] 社会調査論a[1] 社会調査論b[1] 中) ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2]						選択必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を含む6単位以上	
	経営コース [41単位]			基) 経営学基礎[2] 中) 経済史[2] 経営戦略論[2] 経営学a[1] 経営学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] 環境マネジメント論[1] 企業法務[2] 会計学[2] 管理会計[2] 上) 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] ゲーム理論[2] 人的資源管理論[2] マーケティング論[2] 企業組織の心理学[2] ライフサイクルアセスメント論a[1] ライフサイクルアセスメント論b[1] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2]								・所属コースから30単位以上 (共通専門科目から最大6単位まで併入可能)	
	政策コース [38単位]			中) 政策入門[2] 社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公的年金論[2] 憲法a[1] 憲法b[1] 地方自治論[2] 行政学[2] 民法Ⅰ [2] 国際法[2] 国際海洋法[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論Ⅰ [2] 上) 公共政策論[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 民法Ⅱ [2] 国際関係の法と経済[2] 地方財政論[2] 日本政治論Ⅱ [2]									
	地域福祉コース [34単位]			基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ [2] 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ [2] 中) ソーシャルワークの理論と方法a[2] ソーシャルワークの理論と方法b[2] ソーシャルワークの理論と方法c[2] ソーシャルワークの理論と方法d[2] 上) 高齢者福祉論[2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利保護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2] 社会福祉調査[2] 福祉経営論[2] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 精神保健学[2]									
	国際教養コース [29単位 (ほか語学科目18単位(英語・中国語各9単位))]			基) 日本文化論[2] 世界経済事情[2] サブカルチャー論a[1] サブカルチャー論b[1] 中) 国際関係論[2] 国際協力論[2] アジア経済論[2] 中国文化論Ⅰ [1] 中国文化論Ⅱ [1] 比較文化論Ⅰ [1] 比較文化論Ⅱ [1] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] 多文化共生論[2] 上) 国際ビジネス論[2] 中国経済論[2] International Economics[2] 海外インターンシップ[2]		【語学科目】 ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ [1] ■English PresentationⅡ [1] ■Intensive ReadingⅠ [1] ■Intensive ReadingⅡ [1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC(中級) [1] ■TOEIC(上級) [1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級) [1] ▲中国語会話(中級) [1] ▲中国語中級講義Ⅰ [1] ▲中国語中級講義Ⅱ [1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ [1] ▲中国語検定対策Ⅱ [1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]						・国際教養コースに所属する場合は、 選択した語学の語学科目はすべて必修 【英語、▲中国語】 ・国際教養コース語学科目の他コース 学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語科目： 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ	
	観光・まちづくりコース [36単位]			中) 観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 自然環境の保全と共生[2] 中山間・離島地域論[2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光Ⅰ [1] 民俗学と観光Ⅱ [1] 中心市街地の再生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2] 上) NPO-NGO論[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論Ⅰ [1] 社会起業家論Ⅱ [1] 余暇と観光の社会学[2] グリーンツーリズム論[2]									
	メディア情報コース [43単位]			基) ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] マルチメディア論[1] データサイエンス入門a[1] データサイエンス入門b[1] 中) 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1] 上) データベース論[1] データベース演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1]									
応用演習科目 [10科目]			基礎) インターンシップ1[2] インターンシップ2[2] インターンシップ3[2] インターンシップ4[2]		中級) プロジェクト型応用演習1[2] プロジェクト型応用演習2[2] 競争型課題解決演習1[2] 競争型課題解決演習2[2] 課題解決実践演習[*]					選択必修		・4単位選択必修	
専門演習	一般					●専門演習Ⅰ [4]		●専門演習Ⅱ [4]		必修	8		
	留学					○専門演習[留学]Ⅰa[2]		○専門演習[留学]Ⅰb[2]		選択必修	(2)	・選択必修科目の必要単位数は留学期間 に応じて定める	
発展教育科目	社会福祉士養成課程 [11科目] [22単位]			中) ソーシャルワーク演習Ⅰ [2] ソーシャルワーク演習Ⅱ [2] ソーシャルワーク演習Ⅲ [2] ソーシャルワーク実習指導Ⅰ [1] ソーシャルワーク実習指導Ⅱ [1] 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ [2] ソーシャルワーク演習Ⅴ [2] ソーシャルワーク実習指導Ⅲ [1] ソーシャルワーク実習Ⅰ [2] ソーシャルワーク実習Ⅱ [3] ソーシャルワーク実習Ⅲ [3]									設置科目数 計302科目 修得単位数 計124単位以上
	外国語 発展 科目 [11 科目]	ロシア語 日本語	初級) ロシア語1[1] ロシア語2[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 中級) ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習c[1] 日本語事情[1]										
	留学外国語	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]		実践外国語[期間・大学名]*[*]									
リメディアル科目 [2科目]	●国語基礎 ●数学基礎										卒業単位数外	・修得が義務	

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分		研究領域および科目名			
共通科目	必修科目	公益学総論 論文作成法 共創の技法			
	選択科目	情報基礎 統計学 社会調査論 哲学 倫理学			
専門科目		組織経営領域	国際関係領域	情報科学領域	地域共創領域
	コア科目	組織経営研究 1 (経済学) 組織経営研究 2 (経営学) 組織経営研究 3 (組織論) 組織経営研究 4 (法学)	国際関係研究 1 (国際社会論) 国際関係研究 2 (多文化共生論) 国際関係研究 3 (文化交渉論) 国際関係研究 4 (グローバル・ガバナンス論)	情報科学研究 1 (公益情報システム) 情報科学研究 2 (人工知能特論) 情報科学研究 3 (多変量解析) 情報科学研究 4	地域共創研究 1 (公共性の社会学) 地域共創研究 2 (社会政策論) 地域共創研究 3 (ソーシャルワーク論) 地域共創研究 4 (地域デザイン論)
	選択科目	組織経営研究 a (財政学) 組織経営研究 b (会計学) 組織経営研究 c (行政学) 組織経営研究 d (政治学) 組織経営研究 e (公共政策論)	国際関係研究 a (移民・難民論) 国際関係研究 b (国際法) 国際関係研究 c (地域文化研究) 国際関係研究 d (地域政治研究) 国際関係研究 e (国際経済研究)	情報科学研究 a (プログラミング特論) 情報科学研究 b (人間工学) 情報科学研究 c (情報数理) 情報科学研究 d (自然言語処理) 情報科学研究 e	地域共創研究 a (ソーシャルキャピタル論) 地域共創研究 b (NPO・非営利組織論) 地域共創研究 c (合意形成・ コーディネーション論) 地域共創研究 d (スクール(学校) ソーシャルワーク論) 地域共創研究 e
発展科目	スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習 プロジェクト a(パートナーシップに基づく地域課題解決の推進) プロジェクト b プロジェクト c プロジェクト d 特別セミナー a(庄内地域の課題解決と企業経営) 特別セミナー b 特別セミナー c 特別セミナー d				
自由科目	教育行政 生徒指導論 路指導論 教育心理学 教育相談の理論と方法 精神保健学 児童・家庭福祉論 公的扶助論 教育学				
演習科目	演習Ⅰ 演習(副) 演習Ⅱ 修士論文指導Ⅰ 修士論文指導Ⅱ				

② 博士後期課程

科目区分	科目名
公益学研究科目	公益学研究 a 公益学研究 b(公共経済学) 公益学研究 c 公益学研究 d(社会政策) 公益学研究 e(自治体マネジメント) 公益学研究 f
キャリア科目	キャリアディベロップメント
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ 博士論文指導Ⅰ 博士論文指導Ⅱ 博士論文指導Ⅲ

(4) インターンシップの実施状況

令和4年度は春学期、秋学期とも「課題挑戦型」と「一般」の2種類のインターンシップを実施した。課題挑戦型は現地での実習はせず、企業や地方自治体が提示した課題の解決策づくりにチーム単位で取り組んだ。「一般」は企業、自治体などで5日間程度の実習に臨んだ。

【課題挑戦型インターンシップ 実施状況】

NO	業種	課題提示機関	課題数	チーム数	実習生人数
1	官公庁 建設・不動産	酒田市役所	4	4	16
2		庄内総合支庁	1	1	2
3		東洋開発株式会社	1	2	6
4	福祉	医療法人社団みつわ会	1	2	6
5	その他	一般社団法人元気インターナショナル	1	1	4
6	卸・小売	鶴岡小堅地区自治振興会(小堅コミセン)	1	1	3
合計			9	11	37

【一般インターンシップ 実施状況】

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	喜多方市役所	1
2		八戸市役所	1
3		山形県立図書館	1
4		秋田県庁	1
5		川西町役場	1
6		村山市役所	1
7		山形県村山総合支庁	1
8		大館市役所	1
9		長井市役所	1
10		鶴岡市役所	1
11		庄内総合支庁	1
12		庄内町役場	1
13	製造	株式会社山形メタル	1
14	情報通信	株式会社コミュニティ新聞	1
15		キューブワン情報株式会社	1
16	運輸	株式会社庄交コーポレーション航空事業部	1
17	小売	トヨタカローラ山形株式会社	1
18		トヨタカローラ福島株式会社郡山店	1
19		株式会社ダイユーエイト	1
20	福祉	株式会社タマツ	1
21		社会福祉法人思恩会(児童養護施設七窪思恩園)	1
22	サービス	株式会社アークベル(ベルナール酒田)	2
23		株式会社オーリーブ	2
24		株式会社月見(月のホテル)	1
25		株式会社たつみ企画(たつみ寛洋ホテル)	1
26		株式会社ナウエル	1
27		株式会社ホテルリッチ酒田	4

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
28	その他	一般社団法人アジア沖縄・ウクライナ医療支援協会	1
29		株式会社モンテディオ山形	1
30		公益財団法人福島県文化振興財団 (とうほう・みんなの文化センター)	1
31		公益財団法人山形県国際交流協会	1
32		庄内観光コンベンション協会	1
33		認定NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭	2
34		株式会社庄内設計測量舎	1
35		米沢商工会議所	2
合計			42

(5) オフィスアワーの実施状況

① 公益学部

イ 令和4年度S1クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限										
2時限	西村まどか 渡辺伸子 広瀬雄二 小野英一 渋谷周二	B-4 G-5 B-3 B-2 D-1	鎌田剛	E-4	小野敦 渡辺暁雄	地域共創 センター H-1	武田真理子	E-2		
昼休み										
3時限	加藤嘉明	地域共創 センター	フェック 東江日出郎 門松秀樹 松尾慎太郎 三木潤一 松田憲 古山隆	G-4 I-1 H-4 C-4 学部長室 I-4 E-1	玉井 雅隆	H-2	森元拓 樋口恵佳 日比眞一 神田直弥 呉尚浩	E-5 I-2 A-1 学長室 A-2		
4時限	呉衛峰 バンティング カロール 阿部公一	F-2 D-2 C-1 H-5	山本裕樹 小関久恵 澤邊みさ子 広崎心	I-5 H-3 A-4 A-5			松山薫 三浦彰人	C-3 C-5	温井亨	G-3
5時限									新名阿津子	D-4

ニ 令和4年度 A2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限										
2時限	西村まどか 渋谷周二 広瀬雄二	B-4 D-1 B-3								
昼休み										
3時限	加藤嘉明 小野英一	地域共創 センター B-2	フェック 東江日出郎 門松秀樹 松尾慎太郎 広崎心	G-4 I-1 H-4 C-4 A-5	玉井雅隆 渡辺暁雄	H-2 H-1	森元拓 樋口恵佳 日比眞一 神田直弥 呉尚浩 武田真理子	E-5 I-2 A-1 学長室 A-2 E-2	松田憲	I-4
4時限	呉衛峰 ティモシー カロール	F-2 D-2 C-1	山本裕樹 小関久恵 澤邊みさ子 古山隆	I-5 H-3 A-4 E-1			松山薫 三浦彰人 三木潤一 鎌田剛	C-3 C-5 学部長室 E-4	温井亨	G-3
5時限	阿部公一	H-5								

② 公益学研究科 イ 春学期

氏名	職位	春学期担当科目	オフィスアワー	場所
青木 孝弘	非常勤講師	NPO・非営利組織論	月曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
門松 秀樹	准教授	政治学、論文作成法	木曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
鎌田 剛	准教授	ソーシャルワーク論	木曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
加留部貴行	非常勤講師	共創の技法	担当回の授業後 10 分	授業教室
川崎雄二郎	非常勤講師	経済学	担当回の授業後 10 分	授業教室
神田 直弥	教授	人間工学	火曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
小関 久恵	准教授	ソーシャルワーク論	木曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
澤邊みさ子	教授	論文作成法	土曜 1~4 時限 終了後 10 分	授業教室
武田真理子	教授	共創の技法、社会政策論、 SSW 実習指導、特別セミナーa	火曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
玉井 雅隆	教授	国際社会論、多文化共生論、 グローバル・ガバナンス論	金曜 7 時限終了後 10 分	授業教室
遠山 茂樹	非常勤講師	哲学	水曜 5 時限終了後 10 分	授業教室
新名阿津子	准教授	論文作成法	担当回の授業後 10 分	授業教室
西村まどか	准教授	情報数理	月曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
ノヴァコフスキカ	講師	人工知能特論	金曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
広瀬 雄二	教授	情報基礎	水曜 6 時限終了後 10 分	授業教室
松枝 法道	非常勤講師	公共政策論	担当回の授業後 10 分	授業教室
山本 裕樹	准教授	統計学	木曜 6 時限終了後 10 分	授業教室

□ 秋学期

氏名	職位	春学期担当科目	オフィスアワー
小野 英一	教 授	公益学総論	授業日 授業後 10 分
加留部貴行	非常勤講師	合意形成・コーディネーション論	担当回の授業後 10 分
小地沢将之	非常勤講師	ソーシャルキャピタル論	授業日 授業後 10 分
高谷 時彦	非常勤講師	地域デザイン論	授業日 授業後 10 分
武田真理子	教 授	公益学総論、合意形成・コーディネーション論、SSW 演習、プロジェクト a	授業日 授業後 10 分
玉井 雅隆	教 授	公益学総論、移民難民論	授業日 授業後 10 分
土屋 佳子	非常勤講師	SSW 演習	授業日 授業後 10 分
ノヴァコフスカロル	講 師	自然言語処理	金曜 6 時限 授業後 10 分
広瀬 雄二	教 授	公益情報システム	水曜 6 時限 授業後 10 分
牧野 晶哲	非常勤講師	SSW 論	授業開始前・終了後 10 分
森元 拓	教 授	法学	金曜 6 時限 授業後 10 分
山本 裕樹	准教授	多変量解析	木曜 6 時限 授業後 10 分
渡辺 暁雄	准教授	社会調査論、公共性の社会学	授業開始前・終了後 10 分

(6) 研究実績報告

氏名		神田直弥				
職位・コース		教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	第14章 Topic 7 歩行者・自転車の安全	応用心理学ハンドブック 編集委員会編, 応用心理学 ハンドブック, 福村出版	2p	2022	応用心理学ハンドブック 編集委員会 編 ハンドブックの1項目を 担当	/
紀要等						
1	ジュニアドクター鳥海塾 初年度の活動評価	東北公益文科大学総合研究 論集	No. 43, 3-42	2022	榊原一心・神田直弥・広 瀬雄二	/
総説・解説等						
1	交通安全教育へのコーチ ングの活用	IATSS Review	Vol. 47, No. 3, 1p	2023	神田直弥	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	多様な立場から安全の研究 を考える①交通心理学 研究の立場から	産業・組織心理学会 第145回部門別研究会 (作業部門)	-	2022	神田直弥	オンライン
2	編集委員会セミナー: 採 択論文の実例を用いた編 集委員による査読ポイン ト解説講座 査読事例の 解説②実践報告	日本人間工学会第63回大 会	Web予稿集, S2A1-01, 2p.	2022	榊原毅・宇野直士・牧口 実・神田直弥・吉川悦 子・村木里志	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本交通心理学会 会員 ・日本人間工学会 会員 ・日本心理学会 会員 ・日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・日本交通科学学会 会員 ・航空運航システム研究会 会員 ・国際交通安全学会 会員 						
②各種学会における活動状況						
日本交通心理学会編集委員 (平成26年～) 日本交通心理学会運営委員 (平成29年～) 日本人間工学会編集委員 (平成30年～令和4年)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有	種別: 基盤C	不採択 (2022)	円		
		種別:		円		
民間機関 等共同研究	件数	契約先名		契約金額		
	1件	黒井産業株式会社黒井交通教育センター KURO-TEC		376000円		
				円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 高齢ドライバーの安全運転の推進と車利用削減に向け、黒井産業株式会社との共同研究において、高齢者講習受講時の意識啓発や高齢ドライバー自身の目標設定の効果を検証する実験を行っている。					

氏名		三木 潤一				
職位・コース		教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	「地域振興に資する観光資源の管理・運営—ケーススタディに基づく理論分析—」 水野敬三編著『関西学院大学産業研究所叢書46 地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす』	中央経済社	第4章 81-99頁	2023年 (令和5年) 3月発行予定	三木潤一	
2	「観光客の移動経路に基づく中心性指標の検討—山形県酒田市を事例として—」 水野敬三編著『関西学院大学産業研究所叢書46 地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす』	中央経済社	第5章 101-124頁	2023年 (令和5年) 3月発行予定	川崎雄二郎・小嶋健太・高林喜久生・三木潤一 (50音順)	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Sequential ambulance dispatch models for optimizing emergency medical services	JSIAM Letters (Japan Society for Industrial and Applied Mathematics)	Vol. 14 pp. 100-103	Received March 23, 2022, Accepted June 14, 2022	Yujiro Kawasaki, Shigeki Hagihara and Jun'ichi Miki	
紀要等						
1	「地方財政健全化のための判断指標と新地方公会計情報の有機的関係性—地方公共団体における将来負担額の検討—」	『経済学論究』(関西学院大学経済学部研究会)	第76巻第3号 (高林喜久生博士退職記念号) 75-94頁	2022年 (令和4年) 12月	三木潤一	
2	地域活性化連携支援事業成果報告「地方公共サービスの民間委託におけるホールドアップ問題—生活系ごみ収集サービスに関する理論的および実証的考察—」	ほくとう総研情報誌 NETT (北海道東北地域経済総合研究所)	No. 117 2022 Summer 48-51頁	2022年 (令和4年) 7月	三木潤一・猪野弘明・松枝法道	
3	“Hold-up Problems in Contracting Out Waste Collection Services”	School of Economics, Kwansei Gakuin University	Discussion paper No. 186, 19 pages total	2019, revised May 2022	Hiroaki Ino, Norimichi Matsueda, and Jun'ichi Miki	
4	「令和4年度 庄内地域転入超過「強み」分析に関する調査研究」	調査研究業務受託(山形県) 最終報告書	2023年2月末 時点で未定	2023年 (令和4年) 3月提出予定	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎	
5	「令和4年度 酒田市観光に関する調査研究」	調査研究業務受託(酒田市) 報告書	2023年2月末 時点で未定	2023年 (令和4年) 3月提出予定	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「ホッジ分解を用いた観光客の移動ネットワークの分析」	日本応用数理学会 第19回 研究部会連合発表会		2023年 (令和5年) 3月発表予定	川崎雄二郎・小嶋健太・三木潤一	混合
2	「令和3年度 酒田市観光に関する調査研究」	令和3年度 酒田市観光に関する調査研究報告会 (酒田市役所) 調査研究内容報告		2022年 (令和4年) 6月	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎	対面
3	「令和4年度 庄内地域転入超過「強み」分析に関する調査研究」	令和4年度 庄内地域「若者定着促進会議」(山形県庄内総合支庁) 調査研究内容報告		2022年 (令和4年) 8月	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会						
②各種学会における活動状況						
東北公益文科大学・関西学院大学・関西大学・名古屋工業大学の教員による関西学院大学産業研究所共同研究プロジェクト「地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす—」最終研究成果報告会を2023年3月に主催・報告予定						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有		種別:	令和3年度(2021年度) 基盤研究(C) (一般) 採択	4,160,000 円 内2022年度配分額 1,430,000 円	
受託研究関係	件数		契約先名		契約金額	
	2 件		山形県庄内総合支庁(転入超過関係) 酒田市(観光関係)		590,000 円 400,000 円	
民間機関等共同研究	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	株式会社丸高(2020・2021・2022年度)		605,000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 本年度で5年目となる調査研究業務受託(酒田市)「令和4年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として取り組み、令和5年度以降も継続の予定である。 令和2年度から継続して、産学連携で株式会社丸高と共同研究「酒田市におけるコンパクトシティ化の検討」に研究代表者として取り組んでいる。 ほくとう総研地域活性化連携支援事業(北海道東北地域経済総合研究所)「地方公共サービスの民間委託におけるホールドアップ問題—生活系ごみ収集サービスに関する理論的および実証的考察—」に研究代表者として取り組み、令和5年度以降も継続の予定である。 本年度で2年目となる調査研究業務受託(山形県庄内総合支庁)「令和4年度庄内地域転入超過「強み」分析に関する調査研究」に研究代表者として取り組んでいる。					

氏名		武田 真理子				
職位・コース		教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	「第1章 就労的活動支援と就労 的活動支援コーディネーターの役 割」	『「ハタラク」で輝く-誰もが活 躍する地域づくり-就労的活動支 援コーディネーターの活用と可能 性』(厚生労働省老人保健健康増 進等事業「就労的活動支援コー ディネーター等の活用に関する調 査研究」報告書)	特定非営利活動法人 全国コミュニティラ イフサポートセン ター	2023年3月	武田真理子 (特定非営利活動法人全国コミュ ニティライフサポートセンター 編)	
国際会議発表論文等						
1	「インクルーシブな社会とは～ ニュージーランドの歴史的・社会 的背景～」	Kumamoto University International Multidisciplinary Symposium on Contemporary Global Issues 2022	発表者	2022年12月10日	武田真理子	1
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「ニュージーランドにおける女 性の活躍とその背景 ～世界初の 女性参政権を実現した社会から 日本が学べること～」	日本ニュージーランド学会 第29 回研究大会 公開シンポジウム 「ニュージーランドにおける女性 の活躍とその背景 ～世界初の女 性参政権を実現した社会から 日 本が学べること～」	コーディネーター	2022年7月30日	武田真理子	1
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
7月総会において日本ニュージーランド学会の会長に選出され、理事会の開催をはじめとする学会運営及び研究会の開催に貢献した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	○有・無		種別： 基盤研究C		270,000 円	
		種別：		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 「地域共創コーディネーター養成プログラム」の評価及び地域人材育成の方法に関する研究については、同プログラム運営委員会の協力を得て、これまでの8年間の記録作成と実績報告を整理し、地域人材育成の知見を発信するための書籍出版企画に着手した。同プログラムの研究及び人材育成の成果は、庄内南部定住自立圏合同研修(鶴岡市、三川町、庄内町の職員研修)、朝日中央自治振興会や庄内町余目第一学区の地域課題解決の伴走支援とその記録などにも取り組んだ。					

氏名	温井 亨				
職位・コース	教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の 場合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)
口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	総会記念講演	庄内町郷土史研究会	2023(令和5)年3月23日	温井 亨	
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等					
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会、都市史学会、庄内町郷土史研究会、飽海地域研究会、山形在来作物研究会					
各種学会における活動状況					
●日本造園学会：ランドスケープ遺産インベントリー作成委員、東北支部運営常任委員、研究発表論文集校閲委員(査読1件)、全国大会参加(6/18-19北海道大学、恵庭市オンライン参加、ミニフォーラムは主催者委員として参加)、東北支部運営委員会(メール会議3回、対面web参加1回)、東北支部大会参加(10/9-10秋田県鹿角市。学生がポスターセッション発表)、11/13東北支部主催多賀城跡周辺環境整備(公園化)事業見学会参加。●日本建築学会：9/5-8全国大会参加(オンライン参加)。●都市計画学会：7/16東北支部講演会参加。●和食文化学会：研究大会参加(3/4-5オンライン参加)。●都市史学会：大会参加(12/19書評会参加、12/24-25岩手県平泉町、総会議長)。●芸術工学会：査読1回。●庄内町郷土史研究会：3/23総会で記念講演。●飽海地域史研究会：講座参加。●山形在来作物研究会：総会参加。					
3. 研究資金獲得状況					
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額	
	有	種別： 基盤研究(C)		260,000円	
		種別：		円	
4. その他					
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ●在来作物研究会会員(山大農学部で行われた研究大会に参加)。●庄内町郷土史研究会会員(総会記念講演を行う)。●飽海地域史研究会講座に参加。●酒田港本港の活用計画に協力(sakatnto)。●鶴岡市の文化財保存活用に協力(旧工藤家住宅実測、他後述)。●遊佐町の新道の駅に協力(後述)。				

氏名	澤邊 みさ子				
職位・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等					
社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会、日本職業リハビリテーション学会、北ヨーロッパ学会					
②各種学会における活動状況					
日本ニュージーランド学会： 事務局長(2018年6月～)、会計(2021年6月～) 日本公益学会： 事務局長(2022年6月～) 日本公益学会2022年度研究大会を東北公益文科大学で開催(2022年9月24日)					
3. 研究資金獲得状況					
4. その他					
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市宮野浦学区における防災マップ作成のためのフィールドワーク調査				

氏名		阿部 公一				
職位・コース		教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	ポスター教材を用いた アクティブ・ラーニング 手法による年金教育—初 年次生対象の演習科目に おける実践から—	東北公益文科大学 総合研究論集	第43号 97~119頁	2022年 (令和4年)	阿部公一	
総説・解説等						
1	どうして公的な年金を 必要とするの？	敬天愛人 (荘内日報社)	Vol.167 2023年2月号	2023年 (令和5年)	阿部公一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本年金学会 他						
②各種学会における活動状況						
本年度においては、オンラインにより日本年金学会に参加した。						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況)				
		国民年金に関する若年層の保険料未納や滞納問題を地域共通の社会的課題として捉え、その解決手法としての年金広報教育(年金広報政策)をゼミ生等と実践した。国民年金すごろくや年金教育用動画を開発して、地域・社会に向けて発信した。				

氏名		松田 憲				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	英文読解の「速さ」と 「読解効率」の可視化が 及ぼす影響 —アンケート調査結果か ら—	東北公益文科大学総合 研究論集	第43号、 141-150頁	2022年 (令和4年)	松田 憲	
総説・解説等						
1	言語のロジックと文化の 違いをAIではまだ十分に 表現できません	公益大ニュース	9号、8頁	2023年2月 (令和5年)	松田 憲	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本比較文化学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会、外国語教育メディア学会 Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association						
②各種学会における活動状況						
オンラインでの研究会等に参加した。						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						

氏名		呉 衛峰				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	台湾現代詩における俳句の 影響について(続)——一 九九〇年代後半から現在ま での詩界	東北公益文科大学総合論集 総合研究論集	44号、(1)-(21)頁	2023年 (令和5年)2月	呉衛峰	
総説・解説等						
1	中国語俳句の流れと現在	現代俳句 (現代俳句協会)	677号(7月号)、 25-27頁	2022年 (令和4年)	呉衛峰	
2	日本で博士論文を書く—— 学問の自由とは何か	比較文学研究 (東大比較文学研究会)	108号、27-30頁	2023年 (令和5年)1月	呉衛峰	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	近代日本詩歌鑑賞	中国・山東大学		2022年 (令和4年)7月14 日-7月19日	呉衛峰	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
①東大比較文学会発行『比較文学研究』107号合評会(2022年令和4年12月16日)において、古田島洋介論文「漢文訓読の《三重奏》——標準模 型構築の試み」の評者を担当した ②東大比較文学会が2023年(令和5年)度出版する予定の『比較ハンドブック』の中国部分の担当を依頼さ れ、それについての協議を当学会内で行われ、担当者等と複数回に渡って協議した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 <input checked="" type="radio"/> 無	種別： 基盤研究C	429万 円			
		種別：	円			
4. その他						

氏名	呉尚浩					
職位・コース	教授 観光・まちづくりコース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	「飛鳥」の項目	長嶋俊介・渡辺幸重監修 『新版 日本の鳥事典 上 巻』三交社	pp. 564-566	2022年12月刊行	須山聡・呉尚浩・岸本誠司	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	「海洋プラスチックごみ 問題解決に向けての多様 な主体による共創—山 形・裸足で歩ける庄内海 岸をめざす20年の挑戦 —」	『公益学研究』(特集: 沿岸・海洋管理における 国際公益の追求—「国連 持続可能な開発のための 海洋科学の10年」を題材 として—/日本公益学 会)	第21巻、第1 号、pp. 23-36	2022年9月刊行	呉尚浩・樋口恵佳・金子 博・大谷明	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム(土木学会認定CPDプログラム) 東北ジオパーク学術研究者会議						
②各種学会における活動状況						
<input type="radio"/> 委員 ・庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員 <input type="radio"/> 論文執筆 ・日本公益学会『公益学研究』誌に論文を執筆(3-1研究発表欄に記載) <input type="radio"/> 学会・研究会参加 ・日本環境社会学会「第65回大会」オンライン開催・参加(2022.6.11-12) ・地区防災計画学会「第9回大会」オンライン開催・参加予定(2023.3.4)						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ○とびしま未来研究所における研究活動として、山形県における海洋ごみ問題解決に向けての20年の試みについてまとめ、『公益学会誌』にて発表。 ○県漂着物対策推進協議会の場などにおいて、「第3次山形県循環型社会形成推進計画」のアクションプログラム策定に対する提案を実施。 ○次期山形県離島振興計画作成のための提案書作成 ○庄内海岸林の保全活動とネットワーク化に関する研究 ○2022年度のカプトエビ研究会(山大など研究者、カプトエビ農法実践農家、農協、行政職員などが参加)を開催し、今後の飯森山地区カプトエビの保全のあり方について、山形県文化財保護課に対して提案活動を実施。					

氏名	古山 隆
職位・コース	教授・経営コース
1. 研究発表	
2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等	
資源・素材学会、環境資源工学会、自動車技術会、日本鉱業史研究会	
②各種学会における活動状況	
環境資源工学会：評議員 自動車技術会リサイクル技術部門委員会：幹事	
3. 研究資金獲得状況	
4. その他	

氏名	広瀬 雄二		
職位・コース	教授・メディア情報コース		
1. 研究発表			
2. 学会活動に関する業績			
①所属学会等			
情報処理学会 デジタルアーカイブ学会			
3. 研究資金獲得状況			
受託事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	1 件	科学技術振興機構 (JST) ジュニアドクター育成塾実施責任者	10000000 円
4. その他			
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) (大学院) (株)プロトソリューションとの地域課題解決包括連携協定		

氏名		森元 拓				
職位・コース		教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	森元拓「大日本帝国憲法体制における反法実証主義——若き美濃部達吉の「挑戦」と二つの論争」	『法の理論』（成文堂）	41号	2023年3月発行 予定		
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「大日本帝国憲法体制における反法実証主義——若き美濃部達吉の「挑戦」と二つの論争」	法理学研究会		2022年10月	森元拓	オン ライ ン
2	「大日本帝国憲法体制における反法実証主義——若き美濃部達吉の「挑戦」と二つの論争」	日本法哲学会		2022年11月	森元拓	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本法哲学会、IVR（国際法・社会哲学連合）、法制史学会、大学教育学会、北大法理研、法理学研究会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	○有・無	種別：基盤研究C		700000 円		
		種別：		円		
4. その他						

氏名	玉井 雅隆					
職位・コース	教授・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	「CSCEプロセスにおける ディールとミュンヘン化 -N+N諸国の視座から見た ダイアログとディール」 後藤玲子、玉井良 尚、宮脇昇(編)『談合 と民主主義 公共空間に おけるディール』	志学社		2022(令和4)年	玉井雅隆	/
2	「国際機構と国境-欧州に おけるナショナル・マイ ノリティと国境地域-」 宮脇昇、樋口恵佳、浦部浩 之(編)『国境の時代』	大学教育出版		2022(令和4)年	玉井雅隆	/
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	欧州安全保障協力機構に おける「公益」-環境問 題と「公益」	公益学研究	第21巻第1号	2022(令和4)年	玉井雅隆	/
査読無し学術論文等						
1	「「ウィーン」の東」と 「ウィーン」の西—OSCE における「分断」とその 対応」	日本国際政治学会		2022(令和4)年	玉井雅隆	/
総説・解説等						
1	『ウクライナ侵攻はなぜ起 きたのか』	早稲田大学出版部		2022(令和4)年	玉井雅隆	/
国際会議発表論文等						
1	Common Security in Northeast Asia - From the European Perspectives	The 21st East Asian Seminar on the United Nation Systems		2022	TAMAI, Masataka	オンライン
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「「ウィーン」の東」と 「ウィーン」の西—OSCEに おける「分断」とその対 応」	日本国際政治学会		2022(令和4)年	玉井雅隆	対面
2	「安全保障と公益—マイノ リティの権利保障と「公 益」—」	公益学会		2022(令和4)年	玉井雅隆	対面
3	Common Security in Northeast Asia - From the European Perspectives	The 21st East Asian Seminar on the United Nation Systems		2022	TAMAI, Masataka	Zoom
4	ウクライナ戦争と経済制裁	シンポジウム		2022(令和4)年	玉井雅隆	Zoom
5	ウクライナ侵攻はなぜ起 きたのか	座談会		2022(令和4)年	玉井雅隆	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
国際政治学会、国際法学会、ロシア東欧学会、公共政策学会、グローバル・ガバナンス学会、日本公益学会、国連学会、ACUNS、ISA						
②各種学会における活動状況						
国連学会渉外委員会委員、公共政策学会書評委員会委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有無	種別： 基盤研究 [◎]		3,200,000円		
4. その他						

氏名	小野 英一					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	人事政策・公務員の働き方	クイズde地方自治ー楽しむ×身につく!自治体職員の基礎知識ー(公職研)	pp. 17-26	2023年 (令和5年)	小野英一	
③学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	「まちづくり条例」のもとでの地域資源を活かした「まちづくり」ー福井県小浜市、山形県酒田市、岐阜県笠松町の事例をもとにー	地域活性研究 (地域活性学会)	vol. 18 頁数 7	2023年 (令和5年) (3月掲載予定)	小野英一	
紀要等						
1	自治体職員の兼業に関する基礎的考察ー動向、制度、効果・影響、阻害要因ー	東北公益文科大学総合 研究論集 (東北公益文科大学)	第44号 pp. 75-88	2023年 (令和5年)	小野英一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
地方行政実務学会、日本公益学会、日本地域政策学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公共政策学会、自治体学会、非営利法人研究学会、						
②各種学会における活動状況						
地方行政実務学会：理事 日本公益学会：理事 日本地域政策学会：理事、東北支部長 地域活性学会：東北支部副支部長						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						

氏名	渡辺 暁雄
職位・コース	准教授 観光・街づくりコース
1. 研究発表	
2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等	
日本社会学会, 日本生活学会, 社会文化学会, 日本公益学会	
②各種学会における活動状況	
大会・研究会・部会・特別企画等へのオンライン参加	
3. 研究資金獲得状況	
4. その他	
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鶴岡市加茂地区の海岸における「人工珪砂」の導入による, 干潟・藻場のCO ₂ 固定化とブルーカーボンクレジット獲得のための, 産学官連携活動へ向けた活動を開始している。現在, 各方面との調整を行っている。

氏名	松山 薫					
職位・コース	准教授 観光・まちづくりコース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の 場合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	地理学事典	丸善出版	38-39	2023(平成5)年	日本地理学会/編	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	映画『007は二度死ぬ』 のロケ地における持続可 能な地域づくり —鹿児島県南さつま市秋 目を例に—	産業経営研究所報(熊本 学園大学付属産業経営研 究所)	42, 91-108 (印刷中)	2023(平成5)年	山口泰史・松山 薫	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	日輪兵舎の用途の多様 化に関する考察	2022年日本地理学会秋季 学術大会(香川大学)		2022(平成4)年	松山 薫	1
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 経済地理学会, 東京地学協会, 東北地理学会, お茶の水地理学会, 軍事史学会, 日本アイルランド協会, 日独協会, 日本地図学会, 日本観光研究学会, 山形県地域史研究協議会, 日本地域政策学会, 山形歴史たてもの研究会						
②各種学会における活動状況						
日本地理学会交流専門委員会委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	(有)・無	種別: 基盤研究(C)		780000円		
その他外部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1件	瀬戸玲子基金(日本地図学会)		550000円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 遊佐町吹浦の「日輪講堂」保存へ向けての学術的協力。					

氏名	日比 眞一					
職位・コース	准教授 地域福祉コース					
3-1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	特別養護老人ホームにおける生活相談員の役割観についての一考察 -山形県の調査をもとに-	東北公益文科大学総合研究論集	第43号	2022(令和4)年	日比眞一	/
2	特別養護老人ホームの生活相談員に必要なスーパービジョンについての一考察 ~山形県の調査をもとに~	東北公益文科大学総合研究論集	第44号	2023(令和5)年	日比眞一	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	特別養護老人ホームの生活相談員に必要なスーパービジョンについての一考察 -A県の調査をもとに-	日本社会福祉学会東北支部 青森県立保健大学	第21回研究大会	2022(令和4)年11月23日(水・祝)	日比眞一	0
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会福祉学会、日本福祉図書文献学会、日本福祉学習支援学会、日本ソーシャルワーク学会、山形県社会福祉士会、山形県権利擁護センターばあとなあ、山形県レクリエーション協会						
②各種学会における活動状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会福祉学会東北支部第21回研究大会で発表。青森県立保健大学 ・日本福祉図書文献学会の東北ブロック理事 ・日本福祉学習支援学会の東北ブロック担当 ・山形県社会福祉士の庄内ブロック理事 ・認定社会福祉士の専門性を調査するために講座の受講を進めたい。実地で自らも学修者として参与観察に取り組みたい。 ・成年後見制度に関する社会福祉士の役割や専門性を調べたい。ばあとなあに所属して情報を得ていく。 ・会に所属していないが、老人福祉施設協議会とのつながりを探したい。施設SWの調査の端緒を得たい。 ・山形県レクリエーション協会とつながりを探したい。介護施設等で実施されているレクリエーションについて実態を調べる。ADLが低下した施設入居者のQOLの維持・拡大をどのように思索するのか、実践から考察していく。 						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県社会福祉協議会監事役員 山形県社協の事業が適正な運営がなされているか、書類確認や職員の方との面接等を行う監査業務に従事する。また、新たな取り組み等について学識経験者として相談に応じている。 ・山形県社会福祉会理事 県士会の理事として社会福祉士実習の担当者に任ぜられた。社会福祉士実習について県内の課題を集約していきたい。何を取り組むべきか調査等を進めていく。 ・社会福祉法人光風会評議員 地域の中核施設である光風会グループの適正な運営に資する。高齢者、障がい者に関連する地域の課題に取り組む。 ・山形県権利擁護センターばあとなあ 酒田市長申立ての成年後見をばあとなあを通して受任した。成年後見、そして未成年後見の専門職後見人へのニーズは高まっており、ばあとなあ登録者だけでは充足しないこともある。今後の地域課題として取り組む必要がある。 ・山形県レクリエーション協会 山形県の介護施設等で実施されているレクリエーションについて実態を調べる。ADLが低下した施設入居者のQOLの維持・拡大をどのように思索するのか、実践から考察していく。 ・山形県立庄内総合高等学校通信制学校評議員 通信課程の運営について評議を行う。全日制高校と違う様々な課題について取り組む。調査したスクールソーシャルワーク等の知見も活用したい。 ・社会福祉法人山形県社会福祉事業団経営改革評価検証委員 社会福祉法人は準市場と呼ばれるフィールドで経営される。利潤追求の理論だけでは成立しない。独自の経営理論が求められる。また、特に介護人材については確保が難しく喫緊の課題である。 					

氏名	東江 日出郎					
職位・コース	准教授 国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	ドゥテルテ政権のフィリピン外交とは何だったのか---小国の自立と従属の観点から---	日本臨床政治学会編『臨床政治学研究』	第13号 (45-67)	2022年12月		
2	マルコス政権はドゥテルテの外交・安全保障政策を変えるのか?	東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会『東アジア共同体・沖縄(琉球)研究』	第6号 (4-19)	2022年11月		
紀要等						
1	マルコス政権に引き継がれたミンダナオ和平(2022年4月-2022年10月)---和平は継続されるのか---	東北公益文科大学『総合研究論集』	第44号	2023年2月		
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「マルコス外交の100日〜ドゥテルテ外交との類似性と相違」	「東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会」主催(第6回年次総会)第25回公開シンポジウム		2022年11月		
2	米中冷戦とドゥテルテのフィリピン外交	アメリカ学会第56回年次大会(Zoom開催)		2022年6月		
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
人間の安全保障学会、国際開発学会、東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会、日本平和学会、日本臨床政治学会						
②各種学会における活動状況						
<p>2022年9月3日には、日本臨床政治学会に参加し、入会をした。また、その後は、同学会の学会誌に論文を掲載した。10月には、私費で、仙台で開催された国際政治学会に参加した。11月5日には、監事を務める人間の安全保障学会の理事会に出席し、その後、JICA緒方貞子研究所の研究員及び、慶応大学講師、オーストラリアのチャールズダーウィン大学講師の発表がある分科会で座長を務め、英語でコーディネーターを務めた。同月13日には、事務局長を勤める東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会の総会に出席した後、公開シンポジウムに登壇して、名古屋大学名誉教授の西原和久氏と日本ボランティアセンター(JVC)元事務局長で理事の谷山博史氏とともに発表。その後、フロアとの討論に臨んだ。尚、この研究会では、数カ月に1度、市民を巻き込んで、東京、鹿児島、沖縄で勉強会を開催しており、東アジアの平和について考えており、単なる学会ではなく、市民を巻き込む社会貢献でもある。その中で私は、勉強会開催やシンポジウム開催、その他ブログの更新などの調整業務を行っている。そして、同学会の学会誌には、論文を掲載した。2023年度2月開催の大学院と鶴岡市の事業の一環で行われた、元国際開発学会会長の山形氏の講演会にも参加し、質問を行うことで、知見を深めた。</p>						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)					
	<p>酒田東高校の探求科が行った、英語による研究発表会では、研究成果の審査を行う山形大学助教と国際教養大学准教授と私から成る審査委員の中で、委員長を務めた。その中には、酒田市の抱える市街地活性化の課題も含まれており、それに対して質問を行うことで、より課題研究の方向性を具体的に促した。また、インターンシップ委員であるため、課題解決型インターンシップに参加する学生たちには、日頃からアドバイスを送っていた。そして、地域共創センターからの依頼で、省内の複数の酒蔵が行う日本酒のシンガポールとオーストラリアへの輸出の記念祝賀会と記者会見に参加した。共同研究の可能性があるということだった。</p>					

氏名		広崎 心				
職位・コース		准教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	ベトナムの工業団地におけるレンタル工場の進化の過程—ユニカビーパンの競争優位要因を中心として—	亜東経済国際学会叢書	25巻 185-198	2023年3月	広崎心	
2	ジェネリック医薬品における流通困難の長期化要因	産業学会研究年報	第38号	2023年3月	広崎心	
査読無し学術論文等						
1	療情報の現状と最適化のために必要なデジタル課題についての調査研究（医療経営改善の観点から）	日本医療経営実践協会誌	2022年版	2022年9月	豊島久雄、 赤瀬朋秀、 広崎心	
紀要等						
1	ベトナムにおける集団海外直接投資の可能性	公益論集	第44号	2023年3月	広崎心	
国際会議発表論文等						
1	Evolution process of rental factories in industrial parks in Vietnam -Focusing on the competitive advantages of Unika Vie-pan rental factory -	第 61 回「東アジアの文化・社会発展と産業経営」国際学術会議	(英語での発表)	2022年12月3日	広崎心	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	業界不祥事に潜む制度的課題—ジェネリック業界の事例を中心に—	第 60 回産業学会全国大会		2022年6月11日	広崎心	
2	戦略的提携と制度改革から見た業界不祥事の発生要因—ジェネリック業界の事例を中心に—	第65回実践経営学会全国大会		2022年8月28日	広崎心	
3-2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本経営学会、産業学会、日本マーケティング学会、商品開発・管理学会、実践経営学会、日本ファルマアライアンス協会、日本ライセンス協会、アジア経営学会、国際情報学会、経済地理学会、経営倫理学会						
②各種学会における活動状況						
日本ファルマアライアンス協会 渉外企画部 理事						
日本ライセンス協会ヘルスケアワーキンググループ 企画運営担当						
③学会賞等の受賞状況						
商品開発・管理学会より学会設立20周年記念書籍への執筆依頼（2023年5月刊行予定）						
3. 研究資金獲得状況						
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	ホテルリッチ酒田		25,000 円		
円						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市、サンロク、石井製作所と協議し、2023年6月開始に向けて効率的草刈りプロジェクトを遂行 ・Shonai Special社とともに 庄内柿を使用したエネルギーバーの販売戦略立案を実施 ・旧かんぼの宿跡地購入企業からの依頼で、選定された学生とともに再開発プロジェクトを実施 ・みちのくインバウンド推進協議会からの依頼で、選定された学生とともに宴会運営方法に関する協議を実施					

氏名	西村まどか
職位・コース	准教授 メディア情報コース
1. 研究発表 2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等 日本物理学会、情報処理学会、IEEE	
②各種学会における活動状況 会員	
3. 研究資金獲得状況 4. その他	
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 山形県科学技術会議、山形県産業科学館運営委員、酒田市教育委員会ものづくり運営委員会副委員長、酒田共同火力関係者との港湾の開発に関する活動m、酒田市の教育環境改善に対する会合

氏名	鎌田 剛					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
学協会誌等 査読無し学術論文等						
1	連携課題に取り組むための7つの鍵 — ある入退院支援エキスパートナースの事例から —	地域連携 入退院と在宅支援	16-1(印刷中につき頁未定)	2023(令和5)年3月24日発行予定		
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	解決よりも「対話」 — 異分野・異業種との社会連携の鍵 —	第24回日本医療マネジメント学会学術総会(一般口演)		2022(令和4)年7月9日, 神戸市	鎌田剛	対面
2	夢語りから“物語り”へ — 将来ビジョンから始める地域づくり —	第12回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック学術集会(招待)		2022(令和4)年10月1・2日, 山形市	鎌田剛	オンライン
3	(ファシリテート役として参加)	第6回社会連携フォーラム(採択を受けた科研費の研究集会)		2023(令和5)年3月17日, 日南市	鎌田剛	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本医療マネジメント学会、農村計画学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本保健医療福祉連携教育学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 無	種別: 基盤研究(C)		4160000 円		
		種別:		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鶴岡市小堅地区において策定を支援した地域ビジョンにもとづく各活動の実装に携わっている。					

氏名	山本 裕樹					
職位・コース	准教授 メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	人生いろいろ、 望遠鏡もいろいろ-5-	富山県立大学紀要	33巻 (3月発行予定)	2023年 (令和5年)	戸田晃一、山本裕樹	/
2	INDI Libraryを用いたインター ネット望遠鏡のシステム開発	東北公益文科大学総合研究論集	44号 (3月発行予定)	2023年 (令和5年)	山本裕樹	/
総説・解説等						
1	インターネット望遠鏡 ネットワーク (ITN) の紹介	理科通信サイエンスネット (数研出版)	74号、pp. 14-15	2022年 (令和4年)	表實、中西裕之、山本裕樹	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測～インターネット望遠鏡の 体験～	学都「仙台・宮城」 サイエンス・デイ2022		2022年 (令和4年)	山本裕樹	対面
2	INDI Libraryを用いたインター ネット望遠鏡のシステム開発	第12回インターネット望遠鏡 プロジェクト・シンポジウム		2022年 (令和4年)	山本裕樹	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本物理学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有(無)	種別： 基盤研究 (C) 期間延長		0 円		
		種別： 基盤研究 (C) (分担)		100000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・ 酒田市地域IT人材育成委託事業「皆既月食観察会」(2022年11月8日)を開催					

氏名	門松 秀樹					
職位・コース	准教授 ・ 政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	『日本政治史入門』	一藝社		2022年(令和4年)	門松秀樹ほか	
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「テレビドラマの中の近 代偉人」	時代考証学会第13回シン ポジウム(於 明治大 学)		2022年(令和4年)	門松秀樹	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本政治学会、日本法政学会、明治維新史学会、時代考証学会、慶應法学会						
②各種学会における活動状況						
時代考証学会運営委員						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						

氏名	白旗 希実子					
職位・コース	准教授・政策コース					
1. 研究発表						
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本教育学会 日本教育社会学会 日本職業教育学会 日本高等教育学会 東北教育学会 日本子ども社会学会 日本社会福祉学会 M-GTA研究会 山形県社会福祉士会						
②各種学会における活動状況						
日本職業教育学会(旧名:日本産業教育学会) 理事、学会誌編集委員 (年度途中で終了 休職中も含め、復帰後も理事・編集委員等の活動に参加していません。)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 無	種別: 基盤C(代表)		直接経費 800000円		
		種別:		円		
4. その他						

氏名	小関 久恵					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
3-1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	農山村におけるコミュニティブームと地域運営組織の再編過程—山形県庄内地方の事例から—	日本地理学会 E-journal GEO	18巻1号 p. 1-21	2023年	筒井一伸, 小関久恵	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会						
②各種学会における活動状況						
日本社会福祉教育学会理事						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 主な活動としては、酒田市日向地区においてゼミ活動を通じた課題解決に向けた活動を行った。コミュニティセンターに開設したコミュニティカフェ「日向里かふえ」における、子どもの遊び場(居場所)の企画運営(にっこりランド)を定期的に開催(全6回)、高齢者の介護予防講座の企画運営を行った。 また、令和3年度に策定した同地区地域づくりビジョンの行動計画(全3年計画)のうち、特に「移動するコミュニティ」(アウトリーチ型の小さなコミュニティ形成)、「にっこりポイント」(地域通貨活用による支え合い活動)等の取り組みについて、コミュニティ振興会への協力・共創により1年目の計画遂行に携わった。 なお、同地区は令和4年度豊かなむらづくり全国表彰事業(農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会共催)においてむらづくり部門で農林水産大臣賞を受賞した。					

氏名		樋口 恵佳				
職位・コース		准教授 政策コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	第3章 国境紛争と国際法	国境の時代	46-68頁	2022年5月	樋口恵佳(分担執筆)	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	国連海洋法条約の下での 気候変動への対応	環境法政策学会誌	25巻135-144頁	2022年12月	藤井麻衣, 樋口恵佳	
査読無し学術論文等						
1	持続可能な海域利用に関する 国内法制度の検証： 海洋空間計画の国際ガイド ラインの視点から	公益学研究	21(1) 13-21頁	2022年7月	樋口恵佳	
総説・解説等						
1	<コラム>BBNJ交渉の裏側	海の生物と環境をどう守 るか—海洋生物多様性を めぐる国連での攻防		2022年10月	樋口恵佳	
2	国際環境法基本判例・事 件⑫ モーリシャス燃料 油流出事故	国際環境法講義(第2版)	280-283頁	2022年5月	樋口恵佳, 藤井麻衣	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	BBNJ新協定最新条文案の 能力構築・海洋技術移転 ほかの論点分析	BBNJ研究会		2022/10/23	Eka HIGUCHI	
2	Opinio Juris and International Law on the Sea-level Rise	International Symposium on "Ocean Governance in the New Era: Current Challenges and the Law of the Sea		2022年11月10日	Eka HIGUCHI	
3	能力構築・海洋技術移 転、分野横断的事項の検 証	日韓海洋法ワークショッ プ		2022/12/6	Eka HIGUCHI	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
国際法学会、世界法学会、グローバル・ガバナンス学会、日本海洋政策学会、青森法学会、日本国際連合学会						
②各種学会における活動状況						
日本国際連合学会渉外委員会(2021年4月-現在)、国際法学会 若手研究者育成委員会(2018年10月-現在)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	種別： 若手研究(R3-5)21K13196		(直接経費、間接経費込)2340000 円		
受託研究関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	笹川平和財団海洋政策研究所		624300 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 洋上風力発電に関する適地選定等に関する法律である再エネ海域基本法について、合意形成に関する視点から論文「持続可能な海域利用に関する国内法制度の検証：海洋空間計画の国際ガイドラインの視点から」を執筆し、『公益学研究』へ発表した。これにより外部団体(自然エネルギー財団)からのヒアリングを受けるなど、地域課題を国際標準の仕方でもデザインすることについて知識を広めることができた。					

氏名	松尾 慎太郎					
職位・コース	准教授・経営コース					
3-1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Toulminモデルによる 「監査上の主要な検討事 項(KAM)」の分析	現代監査	(32) 139-151	2022年(令和4 年)	松尾慎太郎	
査読無し学術論文等						
1	第6章 オーストラリアにお ける非財務情報に対する保証の 実態	日本会計研究学会特別委員会 最終報告書「開示情報に対す る保証の枠組みに関する研 究」	80-89	2022年(令和4 年)	松尾慎太郎	
2	第6章 共同監査に関する基礎 研究	日本監査研究学会課題別研究 部会最終報告書「監査人の ローテーションに関する研 究」	94-117	2022年(令和4 年)	松尾慎太郎	
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Toulminモデルによる無 限定適正意見以外の監査 報告書の分析	日本監査研究学会			松尾慎太郎	1
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。						
②各種学会における活動状況						
日本会計研究学会特別委員会 メンバー 日本監査研究学会課題別研究部会 メンバー						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別： 基盤研究(B)		(分担) 600,000 円	
			種別： 基盤研究(B)		(分担) 300,000 円	
			種別： 若手研究		1,100,000 円	
4. その他						

氏名		Edmund Fec				
職位・コース		講師・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の 場合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Syllable Instruction: Recommendations for the Teaching of Speech and Pronunciation in English Education in Japan by Min HE and Edmund FEC	東北英語教育学会研究紀要第	43号(予定)	2023年3月発行予定	Min HE and Edmund FEC	/
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
1. 全国語学教育学会(JALT: The Japan Association for Language Teaching). 2. TESOL International Association.						
②各種学会における活動状況						
I attended 3 Yamagata JALT meetings (in April, May and July 2022) and the 2022 JALT Conference which was held online (November 12-13, 2022).						
3. 研究資金獲得状況						
4. その他						

氏名		渡辺 伸子				
職位・コース		講師 経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 場合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	応用心理学ハンドブック	福村出版	pp. 304-305	2022	応用心理学ハンドブック編集委 員会・編	/
紀要等						
1	中学生の子を持つ保護者の特 性シャイネスと教師・スクー ルカウンセラー・外部の専門 機関に援助を求めることへの 心配の関連	東北公益文科大学総合研究論 集	43, 79-69	2022	単著	/
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	家計管理行動の収集と分類— —文献調査と面接調査による 検討—	日本心理学会第86回大会	ページ番号未定	2022	単著	オンライン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会						
②各種学会における活動状況						
応用心理学研究編集委員会(～2022年度7月) ※産休に入るため委員を辞退						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別: 研究活動スタート支援		260万 円	
			種別:		円	
4. その他						

氏名		ノヴァコフスキ カロル ピオトル				
職位・コース		講師・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Adapting multilingual speech representation model for a new, underresourced language through multilingual fine-tuning and continued pretraining	Information Processing & Management	Volume 60, Issue 2	2023年	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Kyoko Murasaki, Jagna Nieuważny	
2	(VIDEO TALK) Adapting multilingual speech representation model for a new, underresourced language through multilingual fine-tuning and continued pretraining	Science Talks	未定	2023年3月発行予定	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Kyoko Murasaki, Jagna Nieuważny	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Adapting multilingual speech representation model for a new, underresourced language through multilingual fine-tuning and continued pretraining	Information Processing & Management Conference 2022		2022年	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Kyoko Murasaki, Jagna Nieuważny	オン ライ ン
2	危機言語の記録保存のための情報処理技術—アイヌ語の音声解析技術に着目して—	第14回琉球継承言語研究会シンポジウム		2023年3月開催予定	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Kyoko Murasaki, Jagna Nieuważny	対面
3	全国方言分布調査 (FPJD) を用いた方言の翻訳精度の向上	サイエンスカンフェレンス 2022		2022年	土門侑生 (発表者), Karol Nowakowski (研究指導)	オン ライ ン
4	庄内方言および方言学習におけるデジタル教材に関する研究	第5回中高生情報学研究コンテスト		2023年3月開催予定	佐々木みらい (発表者), Karol Nowakowski (研究指導)	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
情報処理学会 (役割: 正会員), Information Processing & Management, Special Issue on Science Behind Neural Language Models (役割: Guest Editor), The Fourth Workshop on Processing Emotions, Decisions and Opinions (EDO 2023) (役割: PROGRAM COMMITTEEのメンバー)						
②各種学会における活動状況						
論文査読 (5件)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	(有) 無	種別: 若手研究 (2022-04-01 - 2027-03-31)	4,680千円			
		種別:	円			
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ジュニアドクター鳥海塾にて、地域の無形文化財である方言に対する意識向上やその保存につながると期待できる研究を実施している。					